



«2025年3月期 第2四半期»

決算説明会

2024年11月13日

エレマテック株式会社

東京証券取引所 プライム市場 CODE : 2715

URL : <https://www.elematec.com>

I R 問い合わせ先 : 経営企画部 E-mail: IR-info@elematec.com TEL: 03-3454-3526

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2024年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

決算報告

2025年3月期 第2四半期連結累計期間

e|em

2025年3月期2Q累計 連結損益計算書

決算ハイライト

自動車関連商材の販売は堅調に推移した一方で、
ドライブレコーダー等アフターマーケット向け商材の販売は低調に推移

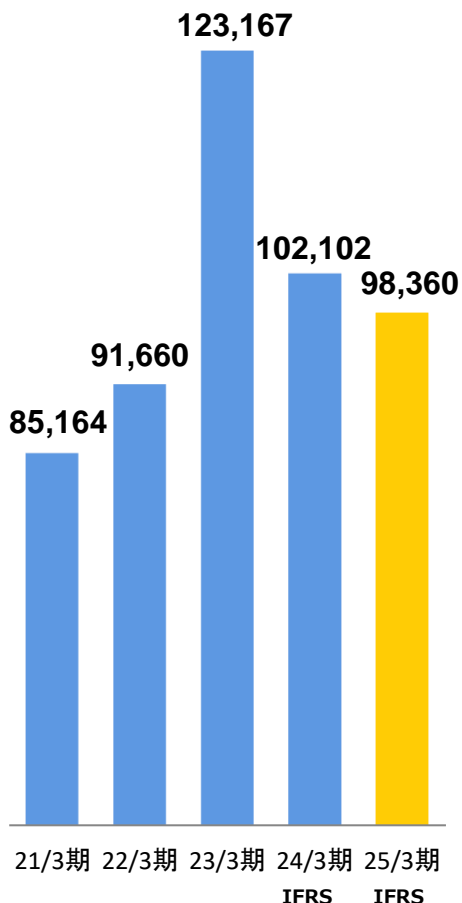
単位：百万円	24/3期 2Q累計 (USD=141.06円)	25/3期 2Q累計 (USD=152.78円)	前期比	増減要因
売上収益	102,102	98,360	▲3.7%	ドライブレコーダー等アフターマーケット向け商材の販売減少による減収
売上総利益	12,482	12,783	+2.4%	利益率改善に伴う増益
売上総利益率	12.2%	13.0%	+0.8pt	
販売管理費	7,494	7,828	+4.5%	増員に伴う人件費等の増加
営業活動に係る利益	5,034	4,996	▲0.8%	
税引前利益	4,635	4,433	▲4.3%	
中間利益	3,305	3,068	▲7.2%	
EPS	80.73円	74.93円	—	
1株当たり配当金	40円	40円	—	

* 為替影響 売上収益：+64億円、中間利益：+3億円

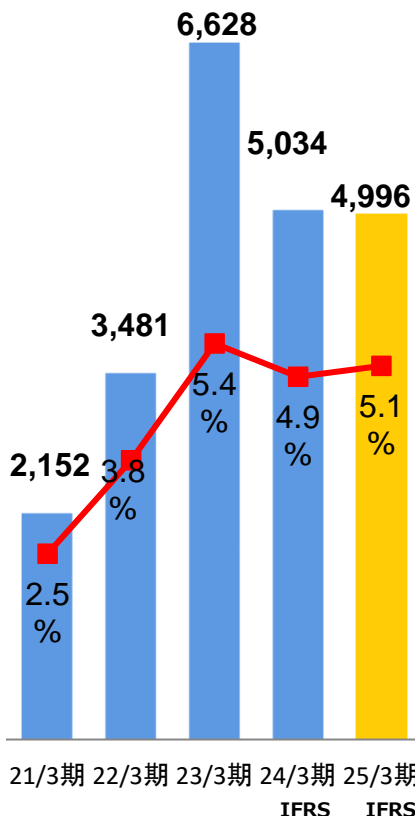
第2四半期連結累計期間の業績推移

Point 前年同期比では減収減益となったものの、過去3番目の業績水準で着地

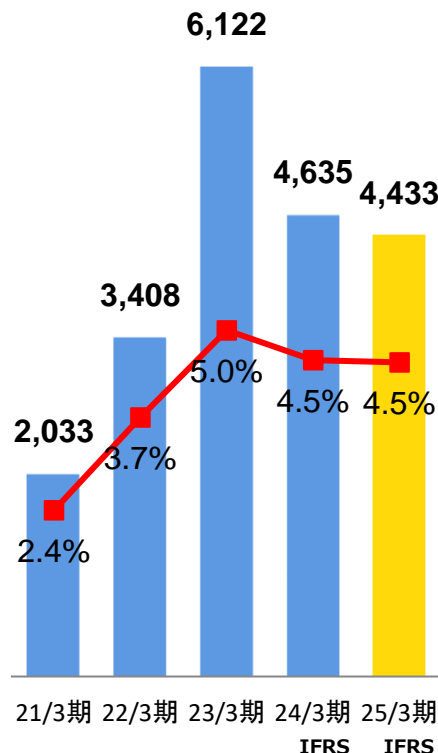
売上収益



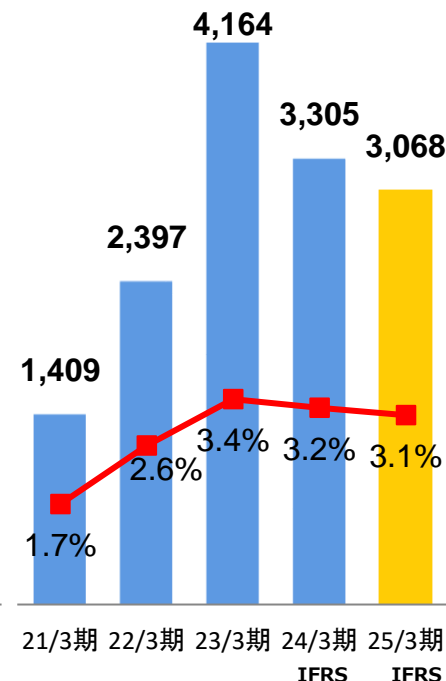
営業活動に係る利益



税引前利益



中間利益

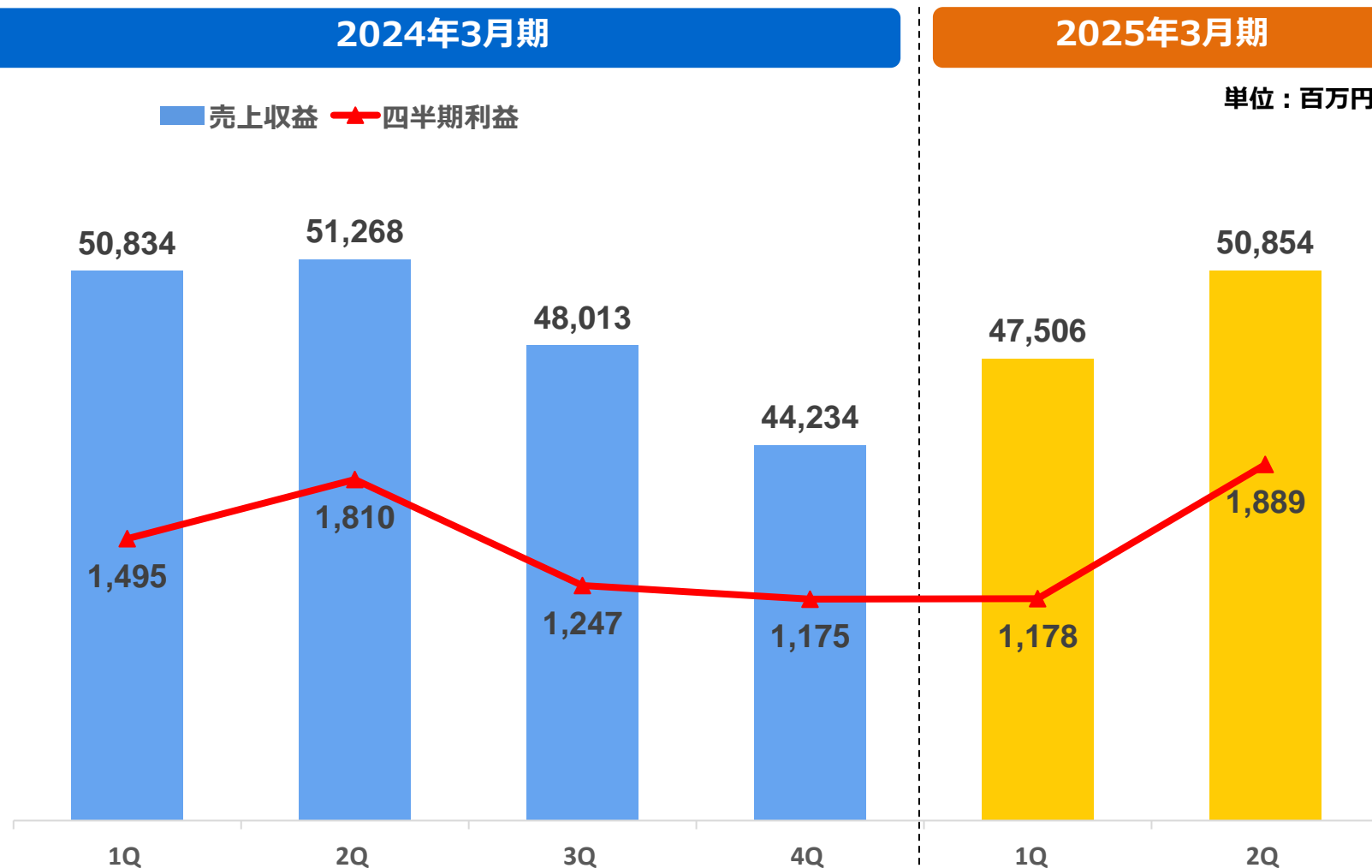


※当社は2024年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、従来の日本基準(JGAAP)に替えて国際会計基準(IFRS)を任意適用しております。

当スライドにおける、2023年3月期 第2四半期以前の指標については、それぞれIFRSの勘定科目に対応する、下記のJGAAPの実績を記載しております。
 売上収益：売上高、営業活動に係る利益：営業利益、税引前利益：経常利益、中間利益：四半期純利益

四半期別の業績推移

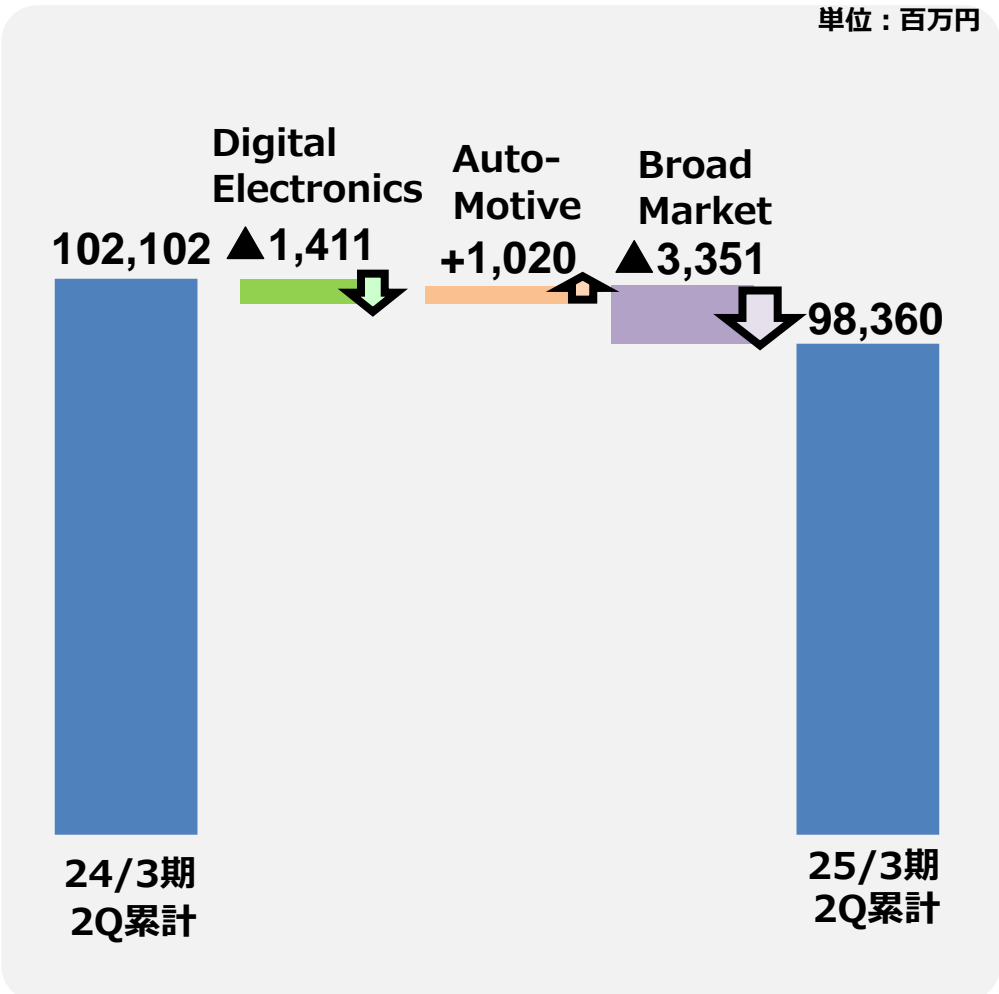
Point 電子部品市場の需要回復及び利益率の高い自動車関連商材の増収等に伴い、
足下の業績は前期第4四半期を底に回復傾向



マーケット別売上増減要因

- ・ Digital Electronics : ディスプレイ関連部材を中心に販売が減少
- Point・ Automotive : EV向けヒーター等の商材を中心に販売が増加
- ・ Broad Market : ドライブレコーダー等のアフターマーケット向け製品の販売が減少

前期比 売上高増減内訳



Digital Electronics

【前期比】 ▲1,411百万円(▲3.5%)
(40,831百万円⇒39,419百万円)

液晶、TP、BL	▲3,625百万円
黒物家電	▲924百万円
電気・電子部品	+2,178百万円

* TP、BL=タッチパネル、バックライト

Automotive

【前期比】 +1,020百万円(+4.8%)
(21,090百万円⇒22,111百万円)

Broad Market

【前期比】 ▲3,351百万円(▲8.3%)
(40,181百万円⇒36,829百万円)

アフターマーケット	▲4,781百万円
産業機器・電動工具	▲723百万円
医療機器	+1,110百万円

販売費及び一般管理費の状況

単位：百万円	24/3期 2Q累計	25/3期 2Q累計	増減額	増減要因
人件費	4,187	4,565	+378	人員増に伴う増加
荷造運賃	1,147	1,285	+137	輸送コスト上昇に伴う増加
その他	2,160	1,977	▲181	貸倒引当金の戻入による減少
販売管理費	7,494	7,828	+334	売上収益販管費率 7.3% ⇒ 8.0%

国内・海外売上収益

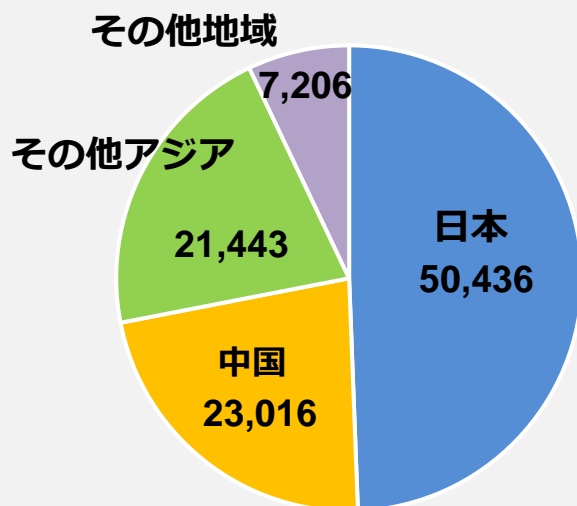
Point

- ・日本：ドライブレコーダー等のアフターマーケット向け製品の販売減により減収
- ・海外：主に中国において、ディスプレイ関連部材やデジカメ用部材等の需要増により増収

8

2024年3月期2Q累計

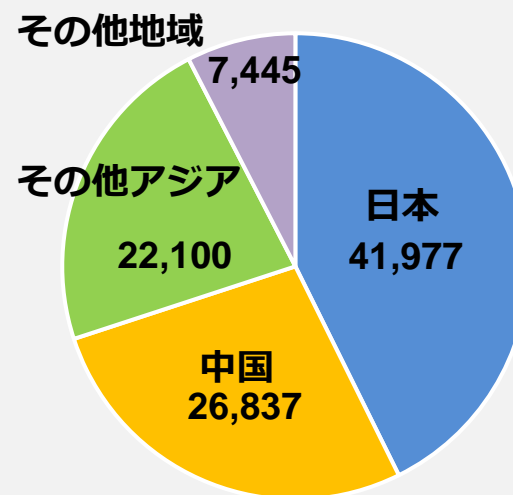
単位：百万円



2024/3月期	売上構成比
国内	49.4%
海外	50.6%
中国	22.5%
その他アジア	21.0%
その他地域	7.1%

2025年3月期2Q累計

単位：百万円



2025/3月期	売上構成比
国内	42.7%
海外	57.3%
中国	27.3%
その他アジア	22.5%
その他地域	7.6%

連結貸借対照表

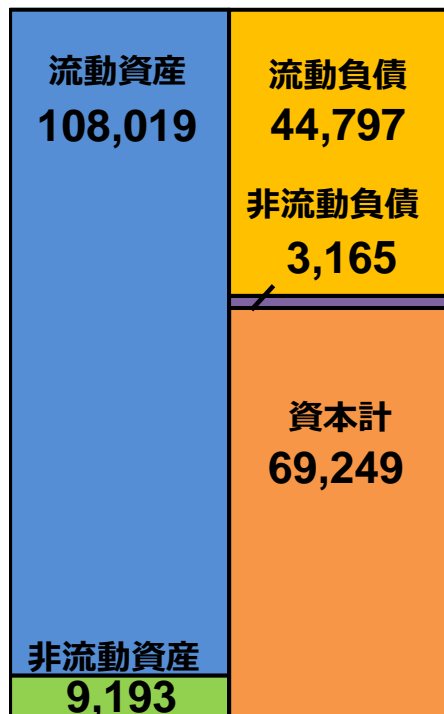
Point 親会社所有者に帰属する持分比率は、50%超を維持

バランスシート

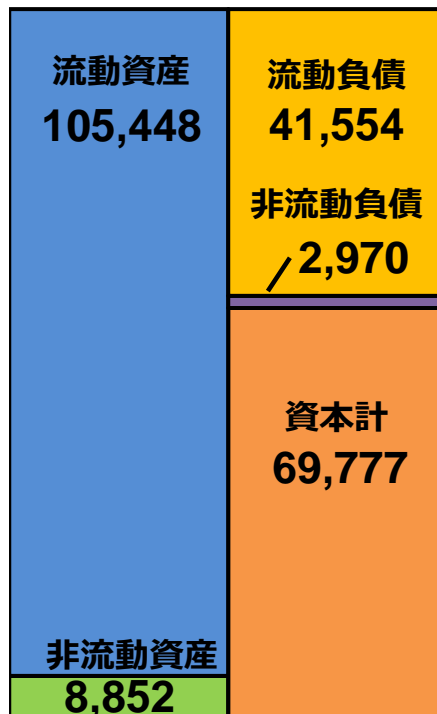
単位：百万円

資産合計 117,212
親会社所有者
帰属持分比率 59.1%

資産合計 114,301
親会社所有者
帰属持分比率 61.0%



2024年3月期末



2025年3月期2Q

主な増減要因

流動資産 ▲2,570

- 現金及び現金同等物 ▲7,718
- 営業債権及びその他の債権 +4,228
- 棚卸資産 +605

非流動資産 ▲340

- 使用権資産 ▲199
- 有形固定資産 ▲157

負債 ▲3,439

- 営業債務及びその他の債務 ▲3,899
- その他の流動負債 +755

資本合計 +528

- 利益剰余金 +1,225
- その他の資本構成要素 ▲697

連結キャッシュ・フロー計算書

キャッシュフロー

主な増減要因

単位：百万円	24/3期 2Q累計	25/3期 2Q累計
営業C/F	11,086	▲4,209
投資C/F	▲581	▲589
財務C/F	▲3,176	▲2,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	953	▲407
現金及び現金同等物の増減	8,281	▲7,718
現金及び現金同等物の期末残高	41,248	34,420

営業CF

- 税引前中間利益 +4,433
- 営業債権及びその他の債権の増加 ▲5,168
- 棚卸資産の増加 ▲1,016
- 営業債務及びその他の債務の減少 ▲2,229

投資CF

- 投資有価証券の取得 ▲351
- 有形固定資産の取得 ▲203
- 無形資産の取得 ▲94

財務CF

- 配当金の支払額 ▲1,842
- リース負債の返済 ▲629

通 期 業 績 予 想

2 0 2 5 年 3 月 期

e|em

連結業績予想

2025年3月期通期業績予想は、2024年4月25日発表時の内容にて据置

- ◆自動車領域において期初予想比では下回って推移している一方で、電気・電子部品及びTOY・ホビー領域等で需要の増加が見られ、全体的には期初予想に沿って進捗

単位：百万円	24/3期	25/3期	増減 (24/3期vs.25/3期)
売上収益	194,350	216,500	+11.4%
営業活動に係る利益	9,052	9,350	+3.3%
税引前利益	8,116	8,650	+6.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	5,729	6,000	+4.7%
EPS	139.93円	146.53円	—
ROE	8.5%	8.5%	—

25/3期連結業績予想 前提為替レート USD= 145 円

中期経営戦略 (2024年3月期～2026年3月期)

e|ematec Pro⁺

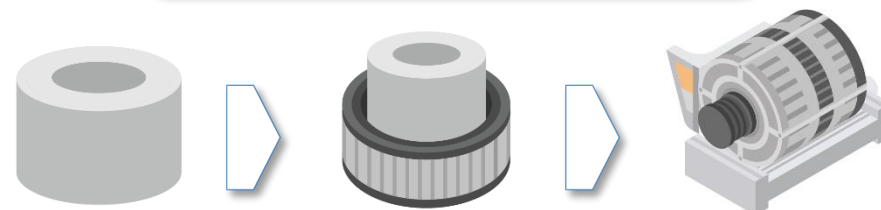
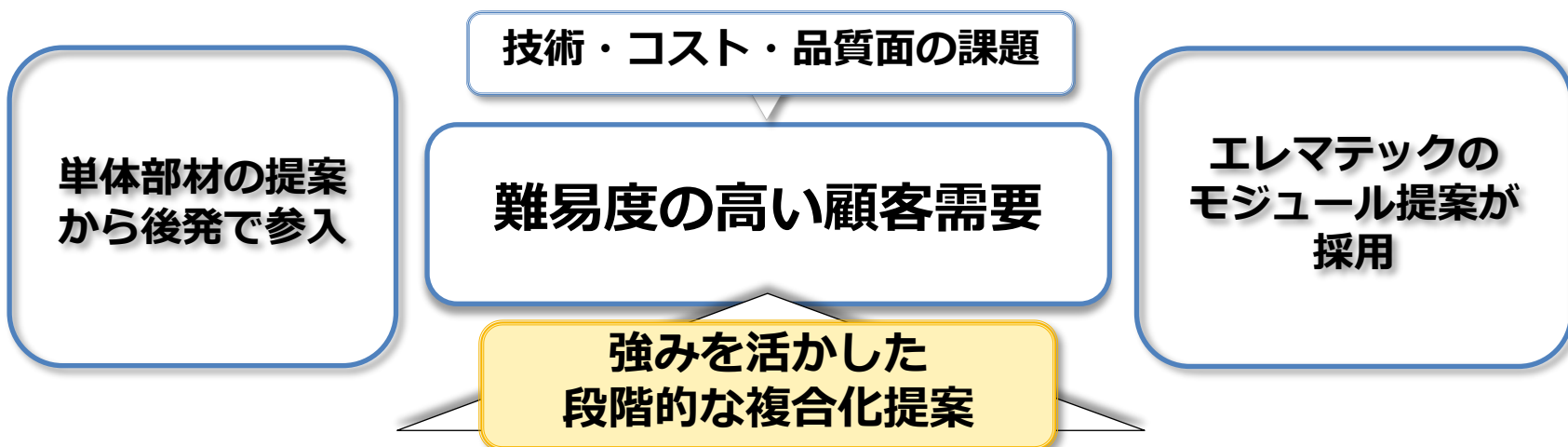
エレマテック・プロプラス

2025年3月期 上期の取り組み

高付加価値型ビジネスの強化/自動車領域への注力

■ モジュール提案による案件の高付加価値化を促進

【事例紹介】自動車領域における、新規顧客のEMCフィルター*案件
当社の技術力や、専門性の高い品質保証部門・グローバルなネットワークといった強みを活かし、積極的なモジュール化提案を行った結果、案件の大型化・高付加価値化を実現



単体部材

部材複合提案

モジュール品提案

*EMCフィルター：EV車などにも使用される、電磁波干渉を抑制するためのフィルター

M&A・アライアンスによる顧客基盤・事業領域の拡大

■ 持続的な成長に向け、積極的な投資を推進

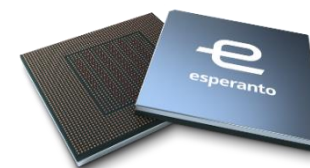
【Esperanto Technologies Inc.への出資】



- 2024年10月2日にEsperanto Technologies Inc.への出資を発表
- 当社の強みであるネットワークを活用し、Esperanto社製品の日本での展開を推進していく

【Esperanto Technologies Inc.】

- 米国シリコンバレーに本社を置くスタートアップ
- AI向けRISC-Vベースプロセッサの供給・提供を行う
- 日本の先端半導体メーカーであるRapidus株式会社と、半導体の設計開発で協業



< Esperanto社製品の特徴 >

低放熱・低騒音の特徴を持ち、高性能を維持しつつ、消費電力を低く抑えられるため、ローパワー稼働が可能。

M&A・アライアンスによる顧客基盤・事業領域の拡大

■ 持続的な成長に向け、積極的な投資を推進

【MEDIROM MOTHER Labs への出資】



MEDIROM
MOTHER Labs

- 2024年10月29日にMEDIROM MOTHER Labs との資本業務提携契約の締結について発表
- 今後は当社のグローバルなネットワークを活かし、安定的な部材調達のサポートを行う

【MEDIROM MOTHER Labs】

- メディロムグループのヘルステック事業を中心に展開する子会社
- ヘルスケアアプリを利用した体質改善プログラムや、24時間365日充電不要のトラッカー「MOTHER Bracelet」を開発提供
- 介護・流通等・デベロッパーなど、BtoB向けにソリューションを展開

MOTHER
BRACELET



豊田通商株式会社による

当社株式の公開買付実施について

e|em

豊田通商株式会社による当社株式に対する公開買付けについて

- 当社は、2024年10月29日付で、「親会社である豊田通商株式会社による当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」を公表致しました。
- 本公開買付けが成立した場合、当社は一連の手続きを経て豊田通商株式会社の完全子会社となり、上場廃止となる見通しです。
- 本公開買付けが成立した場合、当社は2025年3月期の期末配当を行いません。

【本公開買付けの概要】

①公開買付価格

・ 1株当たり2,400円

③公開買付予定数

・ 16,940,333株

②公開買付期間

・ 2024年10月30日から
2024年12月11日まで

④上限・下限

・ 上限なし
・ 下限は、議決権の
2/3以上に達するまで

※本TOBが成立したものの、当社株式の全てを取得できなかった場合、少数株主からの強制取得、いわゆるスクイーズアウト手続きが実施される見込みです。

※本公開買付けに関する詳細につきましては、当社のプレスリリースよりご確認ください。

本公開買付けの目的

【本公開買付けに至った経緯について】

当社グループを取り巻く事業環境は、地政学リスクを契機としたリスク分散の必要性の高まりや、急速な技術革新、顧客ニーズの高度化・多様化等に伴い、付加価値を提供する重要性がより高まっております。

その為、国内外の有力顧客の開拓や、ポテンシャルエリアでの高付加価値の商材・サービス提供をより推進していく必要があります。

このような施策を進めていくにあたり、当社と豊田通商両社の経営資源やノウハウの活用が必要であると認識しております。

一方で、両社がいずれも上場企業である為、情報交換等に一定の制約があり、両社間の連携は限定的となっております。

当社が豊田通商の完全子会社となり、その制約を解消することで、

・ 国内顧客基盤の強化

・ グローバルへの事業展開

・ 新市場への事業領域拡大

・ 人材の交流

といった観点のシナジー効果を期待でき、当社の企業価値向上に資すると判断したことから、本公開買付けへの賛同を表明するに至りました。

**「良いつながりを広げ
新たな価値を提供する」**

e|ematec

エレマテック株式会社

Elematec Corporation

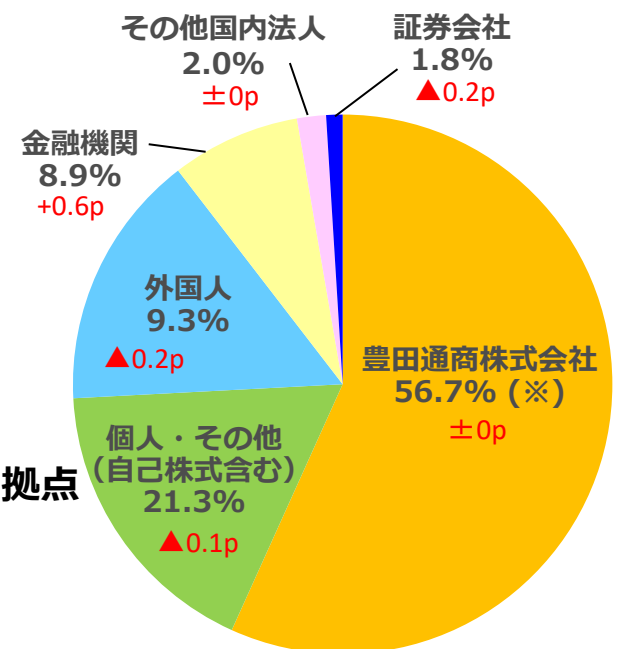
補足資料

e|em

会社概要

※下記の各データは2024年9月30日現在

商号	エレマテック株式会社 (英訳名 Elematec Corporation)
設立	1947年4月 (創立 1945年11月)
上市場	東証 プライム市場
所在地	東京都港区三田三丁目5番19号 住友不動産東京三田ガーデンタワー26階
代表者	代表取締役社長 横出 彰
事業内容	エレクトロニクス専門商社
従業員	【連結】 1,242名 【単体】 527名
営業拠点	【国内拠点25ヶ所】 本社・本店・18支店・5営業所 【海外拠点48ヶ所】 東アジア 25拠点、東南アジア 13拠点 南アジア 2拠点、北中米 5拠点、欧州 3拠点
資本金	2,142百万円
発行済株式数	42,304千株
株主数	10,956名



(※) 自己株式を除いた議決権比率では58.6%

赤字は、24/3末比の数字